

団体名	アースパルKOBE		
団体の所在地	神戸市中央区	代表者名	宮本 光晴

1. 事業名	省エネアドバイザーの育成研修事業
2. 実施期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
3. 主な実施場所	アースパル KOBE 事務局セミナールーム 地域福祉センター(各ふれまち地域内)、 こうべ KANSAI 住環境協議会
4. 活動形態	環境パートナーシップ事業
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>①「神戸市ふれまちエコタウン」3箇所＋別途2箇所(約70名参加)で「うちエコ診断説明会」を実施、4箇所の地区で、14名の「うちエコ診断」を実施。それぞれ目標レベルの成果を得る。</p> <p>②近年、エコ住宅や長期優良住宅などの重要項目にもなっている。住宅エコポイントも実施され、いよいよ、住宅開口部の断熱で、うち窓・サッシでの対策が省エネ効果に大きな役割を果す。教材として(診断員向け、補助支援資料・冊子として20冊作成)。また、関連して一次エネルギーでは欠かせない、電力会社やガス会社の新製品の省エネ効果などの研究にもつながった。</p> <p>③地球温暖化防止と連動した「家庭の省エネ」で、「CO2削減の見える化」に繋がる、仕組みができた。各家庭の「エコ度」を知り、「CO2削減の対策」を知り、行動に移せる。</p>
6. 成果・反響・ 反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭の「エコ度」を知り(県内の同人数世帯での相対的位置・電気・ガス・灯油・ガソリン等の月の使用量を基本データとしてシミュレーション)、「どこからCO2がでているか」を知り、削減のための「対策」を提案する。各世帯で納得いくことが多い。 ・「うちエコ診断」活動が地域での普及に大きな役割を果す。 ・今まで、わからなかったことや何をすれば有効かが良くわかる。 ・今回の地域では、「高齢の方」が多く、比較的「省エネ」をされている家庭も多い。22年度からは、もう少し若年層の掘り起こしに努める必要がある。
7. 成果物	<p>1. 「神戸市ふれまち・エコタウン」での「うちエコ診断説明会」用の資料・プレゼン PWT</p> <p>2. 「エコ住宅<内窓・サッシ等>—エコ住宅・断熱の副読本—アドバイザー向け」</p>
8. 活動写真・説明	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「うちエコ説明会:エコタウンにて」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「うちエコ診断」</p> </div> </div>